

単元名

「オセアニア州」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力, 主体的に学ぶ力, 他者とかがわる力, 社会貢献力, 自己形成力

単元について

○単元観

本単元で扱うオセアニア州は、オーストラリア大陸と太平洋に広がる島々で構成されており、本単元では、オーストラリアを中心に学習を進めていく。オーストラリアには、かつては先住民であるアボリジニが数多く居住していたが、18世紀末からイギリスの植民地となったことで、イギリスからの移民が多く居住するようになった。彼らが「白豪主義」をとったことから、独立後も、貿易相手国や移民の出身地もイギリスなどのヨーロッパ諸国が中心だった。しかし、1975年に一切の人種差別を禁じたことにより、近年では、貿易相手国も移民の出身地もアジア諸国の割合が増加している。

本単元の学習を通して、学習指導要領の目標(2)に示されているように、環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。また、目標(4)に示されているように、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

本単元は、「アジア州との結びつき」というテーマで学習を進めていくことで、オセアニア州の地域的特色を理解させ、多文化社会における課題と解決策について考えさせることのできる単元である。

○生徒観

事前テストの結果を次に示す。(37人に実施)

1 オセアニア州の位置に○をつける

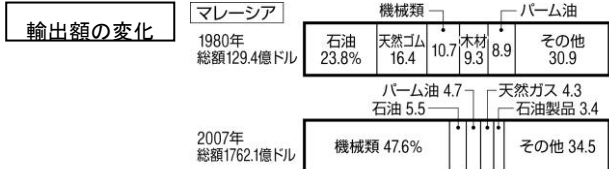
適切に示している	26人 (70.3%)
適切に示していない	4人 (10.8%) ※誤答例：ヨーロッパ, アフリカ, ユーラシア大陸
無回答	7人 (18.9%)

2 オセアニア州の国名を書く(複数回答可)

オーストラリア	29人 (78.4%)
ニュージーランド	27人 (73%)
その他の国名	6人 (16.2%) ※回答例：フィジー, パプアニューギニア
誤答	10人 (27%) ※誤答例：東南アジアの国, ヨーロッパの国, アジア など
無回答	4人 (10.8%)

3 グラフの読み取り〔石油の輸出額が増えたか減ったか〕(下図参照)

正答(増えた)	9人 (24.3%)
誤答(減った)	28人 (75.7%)
無回答	0人 (0%)



4 資料を見て考察する〔どのような問題が起きるか〕(下図参照)



資料から考えられることを述べている	25人 (67.6%) ※回答例：石油がなくなれば生活が苦しくなるなど
誤答(問いに対して答えていない)	6人 (16.2%) ※誤答例：石油がほとんどを占めているなど
無回答	6人 (16.2%)

オセアニア州については、位置や国名、フィジーの気候と暮らしについては既に学習している。しかし、位置を理解できていない生徒が1割程度、国名を理解できていない生徒が4割近くおり、学習内容が定着できていない。また、資料を正確に読み取る力（3①）が定着していないことや、記述の問題で無回答率が高いことも課題である。

続けて、「課題発見・解決学習」に係る生徒アンケートの結果を示す。（39人に実施）

質問項目	肯定的評価	否定的評価
授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思います。	34人（87.2%）	5人（12.8%）
授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	31人（79.5%）	8人（20.5%）
授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手にわかりやすく伝えるように発表を工夫しています。	29人（74.4%）	10人（25.6%）
授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	30人（76.9%）	9人（23.1%）

課題解決に対する意欲は高いが、相手にわかりやすく伝えたり、話し合いを通して考えを深めたりしようとする意欲に課題があると考えられる。

○指導観

本単元では、オセアニア州とアジア州との結びつきが強まっていった理由について、資料の読み取りや、アジア州・ヨーロッパ州の単元で学習した内容との関連付けを通して考察させる。さらに、主体的な学びとなるよう、パフォーマンス課題として、多文化社会における課題と解決策について考えさせる。近年では、日本においても外国人登録者数が増加しており、異文化理解は生徒にとっても必然性の高い課題であるため、主体的に学習に取り組むことができると考えられる。この課題は単元の最初に提示し、学習テーマとともに常に掲示しておくことで生徒が意識して学習に取り組むことができるようにする。

指導にあたっては、生徒の課題を踏まえて、次の指導を取り入れる。

- ・基本的な知識の定着度が低い生徒がいるので、授業のはじめに前時で学習した社会的事象を声に出して読んだり、繰り返しノートに書いたりする活動を取り入れる。
- ・資料を正確に読み取る力に課題があるため、個人で資料の読み取りをさせた後、全体で交流し、読み取り結果をしっかりと理解させてから次の思考をさせる。
- ・自分の考えを根拠を持って説明することが苦手な生徒が多いので、説明に使用するキーワードを示したり、生徒によっては説明の型を示し、空欄にあてはまる言葉を考えれば説明できるように支援したりしている。
- ・自分が考えたことを相手に考えを伝えようとする意欲が低い生徒が多いので、伝える前に自分の考えを書く活動を取り入れ、意見を伝えることへの抵抗を減らす。

単元の目標

- （1）「アジア州との結びつき」という学習テーマで課題を追究し、資料の読み取りや他の単元との関連付けを通してオセアニア州の地域的特色について理解する。
- （2）多文化社会における課題と解決策について、身近なこととして考え、多面的・多角的に考察する。

単元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
①オセアニア州を概観する中で、アジア州との結びつきに関心を持ち、その過程を意欲的に追究している。 ②多文化社会における課題と解決策について、自分のこととして考え、意欲的に追究したり、意見交流したりしている。 ③単元で学習したことを振り返り、今後の学習に生かそうとしている。	①オーストラリアからアジア州への輸出が増えた理由を、アジア州や欧米の変化と関連付けて説明している。 ②人々の交流の面から、オセアニア州とアジア州とのつながりが深まってきた理由や課題を考察している。 ③多文化社会における課題の解決策について、多面的・多角的に考察している。 ④多文化社会における課題と解決策について、他者と意見交換しながら考察したことをもとに、自分の考えをまとめ、適切に表現している。	①オーストラリアの農牧業や鉱産資源の特色を、様々な資料を関連付けながら読み取っている。 ②アジア州からの移民や日本からの観光客が増加していることを、様々な資料から読み取っている。	①乾燥大陸と島々からなる自然、先住民の文化、観光や貿易を中心とした産業などの特色を概観し、理解している。

資質・能力と評価の観点とのかかわり

本校の育てようとする資質・能力				評価の観点			
				関	思	技	知
知識							○
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①学習したことを使って、自分の考えをまとめる力 ②根拠をもとに、正しい判断をする力 ③よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 ④自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力		○	○	
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら考え、判断し、行動する力	○			
価値観 倫理観	他者とかかわる力	他	①他者と協力（協働）して、課題を解決しようとする力 ②他者との関わりを通して自分の考えを深めたり広げたりする力		○		
	社会貢献力	社	①地域のよりよい社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	○	○		
	自己形成力	自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力 ②自信を持つ力	○	○		

Ⅰ 学習内容とⅡ 学習活動、Ⅲ 単元として育てたい資質・能力のつながり

Ⅰ オセアニア州におけるアジア州との結びつきについての学習を通して、	Ⅱ 多文化社会における
課題と解決策を考え、他の人と意見交流して思考を深めることで、	Ⅲ 地域のよりよい社会のため
に、何をすべきかを考え、実行しようとする力を育てる。	

単元の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
多文化社会になっていく中で、福山市を住みやすい地域社会にしていくなめにはどうすれば良いか、中学生として、福山市と福山市民に提案しよう。	A	オセアニア州の単元で学習した多文化社会における課題をもとに、行政の役割と自分ができることについて、具体的に解決策を示している。
	B	オセアニア州の単元で学習した多文化社会における課題をもとに、行政の役割もしくは自分ができることについて、具体的に解決策を示している。
	C	<ul style="list-style-type: none"> ・オセアニア州の単元で学習した多文化社会における課題を踏まえていない。 ・解決策を具体的に示していない。

指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価				評価規準 (評価方法)	◇資質・能力育成場面 【資質・能力】 ◆資質・能力評価場面 【資質・能力】 (評価方法)
			関	思	技	知		
1	課題の設定	・オセアニア州の自然、文化、産業についての基礎的・基本的な知識を身に付け、主題となる「アジアとの結びつきが強まっていること」を見出し、自分なりに予想を立てる。	○			○	ア一①（発表，ノート） エ一①（発表，ノート）	◇主題に対して自分なりに予想を立てる。 【自一②】

2	整理情報・の 分析集	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの農牧業や工業の特色を資料から読み取る。 ・オーストラリアの貿易においてアジア州との結びつきが強まってきた理由を考察する。 	○	○		イー① (発表, ノート) ウー① (発表, ノート)	◇オーストラリアの貿易においてアジア州との結びつきが強まってきた理由を考察する。 【思一①②】
3	整理情報・の 分析集	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の交流の面から, オセアニア州とアジア州とのつながりが深まってきた理由や課題を考察する。 	○	○		イー② (発表, ノート) ウー② (発表, ノート)	◇人々の交流の面において, オセアニア州とアジア州とのつながりが深まってきたことで発生した課題を考察する。 【思一①②】
4	創造・まとめ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化社会における課題に対して, 解決策を考察する。【本時】 	○	○		アー② (行動観察, 付箋) イー③ (行動観察, 付箋)	◇多文化社会における課題に対する解決策について考察する。 【思一③】 【主一①】 【他一②】 【社一①】
5	振り返り 実行	<ul style="list-style-type: none"> ・考察したことをもとに, 個人で提案のレポートを書く。 ・単元の学習を終えての振り返りを書く。 	○	○		アー③ (レポート) イー④ (レポート)	◆提案レポートを書く。 【思一④】 【主一①】 【社一①】 (レポート) ◆振り返りを書く。 【自一①】 (振り返り)

本時の学習

(1) 本時の目標

多文化社会における課題の解決策について, 多面的・多角的に考察することができる。

(2) 準備物

教科書, ノート, 資料集, 地図帳, 付箋, 模造紙, マジック

(3) 学習展開 (4限目/5)

まとめ・創造・表現

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【資質・能力の評価】
導入 (10分)	1 前時で学習した社会的事象について復習する。 (☒…くり返し挑戦する)	・声に出して読ませたあと, ノートに書かせる。	
	2 福山の多文化社会化について知る。	・外国人登録者数の変化や国別割合について説明する。	
	3 事前に予習として調べたり, ALTにインタビューしたりした, 日本で暮らす外国人や, その周りの日本人が困っていることを発表する。	・予習として調べてきたことやALTに事前にインタビューしたことを発表させる。	
	4 本時のめあてを確認する。		
<p>【本時のめあて】 多文化社会になっていく中で, 福山市をみんなが住みやすい地域社会にしていくためにはどうすれば良 いか, 提案しよう。</p>			

<p>展開 (35分)</p>	<p>5 個人で提案内容を考え、付箋に書き出す。 (J…じっくり考える) <予想される生徒の考え> ・外国語の看板を増やす ・様々な国の文化について勉強する機会をつくる ・差別をしない ・外国人と日本人の交流イベントを開く</p> <p>6 学習班で交流をして、意見をまとめる。 (H…はっきり表現する)</p> <p>7 班の代表が発表する。 (H…はっきり表現する) <予想される生徒の考え> ・日本語が分からないことで、看板等が読めない外国人がいるので、外国語表記のある看板を増やす。すると、災害時の避難でも困らない。 ・日本文化に戸惑う外国人や外国文化をよく知らない日本人が多いので、外国人と日本人の交流イベントを行う。すると、お互いの文化を知ることができ、仲良くなれる。</p>	<p>・外国人が暮らしやすくする提案を考えるグループと、日本人が暮らしやすくする提案を考えるグループに分ける。 ・机間指導により、困っていることを解決するにはどうすればよいか考えるよう助言をする。</p> <p>・KJ法を用いて、提案内容とその効果について整理させる。</p> <p>・考えた提案内容について、その効果を関連付けて説明させる。 ・自分のグループの考えと他のグループの考えを比較して考えたことをメモさせる。</p>	<p>アー② 多文化社会における課題と解決策について、自分のこととして考え、意欲的に追究したり、意見交流したりしている。 (行動観察、付箋)</p> <p>イー③ 多文化社会における課題の解決策について、多面的・多角的に考察している。 (行動観察、ノート)</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>8 本時の振り返りを書く。</p>	<p>・授業を通して考えたことを書くように助言する。</p>	